

ダブリン弁論大会 2017年

このグローバリゼーションの時代に、自分の言語を通じて国々は独自性を維持できるでしょうか？

前世紀の間に、世界中でグローバリゼーションが進みました。グローバリゼーションにはもちろん、いろいろな長所がありますね、今自分の国にいて、世界中から美味しい料理が食べられるし、過去と比較すると外国に住みやすくなったし、インターネットでどこに住んでいる友達とも簡単に連絡できますね。

でもグローバリゼーションは短所もありますね。問題の一つは世界の国々の独自性が弱くなっているということです。世界企業がどんどん強くなって、西洋の国に限らず、世界中の街並みがいよいよ似ているようになっています。どこに行っても、スターバックスとか、マクドナルドとかが見えます。フェイスブックとか、グーグルとかは色んな国に強い影響があって、同じハリウッド映画が世界中で人気があります。ほとんどどこに行っても、同じチェーン店で食べられて、同じ近代的な建築が見えて、似ているスーパーで同じブランドが買えます。

それに英語は世界的な言語になっています。世界的な言語があれば、色んな文化の人が一緒に交流できて、それはもちろんメリットです。でも英語は中立的な言語ではありません。第二次世界大戦からアメリカが世界の一番強い国になって、英語が広がるとアメリカの影響も広がります。大体の有名な世界的な会社がアメリカに本拠を置くのは偶然ではありません。どこでニュースを読んでも、アメリカの政治又はスターについてよく話し合われていますね。

でも、自分の国の言語を維持すると、一応自分の文化が保護できるという考え方があります。本日、私は、この理論について話したいと思います。皆様は日本の体験もアイルランドの体験もあって、その二か国が比べられますね。日本とアイルランドの政府はどちらもアメリカの政府と強い関係がありますが、日本はまだ自分の言語を使っています。アイルランドでは長くイギリス領だった歴史的背景によりアイルランド語を話

す人が少数になって、英語が一般的な言語になりました。だから、アイルランドは自分の文化を維持することが日本より弱くなったと言えるでしょうか。

私が JET プログラムに参加した時、高校一年生の歌かるたコンテストを体験できました。歌かるたは平安時代の百人一首という詞華集に基づいていて、色んな学校で生徒はその和歌を勉強しています。これは一つの例ですが、大体の日本人は日本の昔の文化に触れる機会があると思います。アイルランドの文化もとても長い歴史があって、アイルランド語の文献は 1600 年の歴史があります。ヨーロッパでアイルランド語より長い歴史があるのはギリシャ語とラテン語だけで、日本語とアイルランド語の歴史の長さは殆ど一緒です。でも現代のアイルランド人はほとんど英語で書いてある文学しか体験がありません。アイルランド人によって英語で書かれている文学はこの 200 年未満しか存在しないので、自分の国の古い歴史とのつながりが弱くなります。「クーリーの牛争い」などの古典翻訳がありますが、大体は子供に向けて書かれているので、本物を読んだことがある人はとても少ないでしょう。

それにメディアなら、アイルランドと日本の違いは明白です。アイルランドのテレビを観たら、大体の番組はアメリカ又はイギリスから直接に輸入されているか、又はその国で創作された番組のアイルランド化バージョンです。TG4 というチャンネルはよく独自の内容を放送していますが、視聴者が全体的に少ないので一般のアイルランド人に影響があまりありません。音楽家とか、作家とか、俳優とか、英語圏の人はアイルランドで自分の国より有名になったりしますから、アイルランドと他の英語圏の国の違いはあまりありません。でも日本では自分のポップカルチャはまだとても強いです。アニメとか、漫画とか、J ポップとか、日本に限らず、今や他国でも人気があります。ジブリ映画が世界中広がって、日本で開発されたゲームもとても人気があります。それに日本国内テレビ又はラジオを聴いたら、海外の内容はアイルランドより少ないでしょう。まだ自分の言語を使っていますから、英語の文化が日本を変えるのはもっと難しいのです。

アイルランドの新聞を読んだら、海外の記事はよくイギリス又はアメリカのジャーナリストによって書かれています。その国の人に向けている情報を読んで、じわじわとアイル

ランド人はその国の世界観に慣れていきます。時々アイルランド人は自分の時事よりアメリカの政府のほうに興味があるくらいです。それに対して、日本ではアメリカの影響も強いですが、ジャーナリストはみんな日本語で取材していますから、何でも記事を読んだら日本独自の考え方がまだ見られます。

つまり、色んな理由で、国は自分の独自の言語を使わなかったら、もっと強い同じ言語を使っている国の影響がじわじわ強くなって、その国の独自性は時間がたつにつれて弱くなります。日本の例は自分の文化を確保しながらも発展できるという例だと思います。ヨーロッパでは、デンマークとか、フィンランドとか、オランダが良い例だと思います。アイルランドが、自分の独自の言語であるアイルランド語をもっと使用すれば、有益だと結論します。そうすれば、本当にヨーロッパで自分の独自性を出せる国になるでしょう。みなさんはどう思いますか。